

初期研修医（ジュニアレジデント）

1	診療科名	皮膚科
2	診療科紹介	当院では、皮膚炎症性疾患から自己免疫性疾患、悪性腫瘍、非常にまれな遺伝病など、幅広い症例が県内外より多数集まりますので、経験できる症例数、内容がきわめて豊富であることが特徴です。また、重症例のみならず、軽症例の患者も数多く受診されますので、皮膚疾患全般について幅広い経験を積むことができます。
3	臨床研修指導医	大槻マミ太郎、小宮根真弓、神谷浩二、佐藤篤子、杉原夏子、中野尚美
4	研修概要（特徴）	皮疹の観察、記録方法とそれを解釈するための基本的理論を理解し、日常診療に必要な検査テクニック、皮膚生検と病理組織診断の基本、縫合技術や創傷処置を習得する事を目指します。
5	研修内容（方略）	実際に毎日患者の皮疹を観察しながら指導医とともに処置をすることにより、外用薬の選択方法、さらにより効果を上げるためのコツ、患者への指導方法などを学びます。
6	到達目標	<p>(1)一般目標（GIO） どの診療科に進むことになっても、比較的高頻度で出会う皮膚疾患（common disease）について、ある程度の診断、治療を行える。</p> <p>(2)個別目標（SBO） ①外用剤の使い分け ②真菌鏡検 ③抗アレルギー剤の使い方 ④帯状疱疹や疣贅などウイルス疾患の鑑別、治療 ⑤薬疹の鑑別 ⑥簡単な創傷処置（縫合含む） ⑦創傷・褥瘡の治療 ⑧ダーモスコピーの理解</p>
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	病棟／外来
7-2	月曜日（午後）	病棟／外来手術
7-3	火曜日（午前）	8:30 教授回診
7-4	火曜日（午後）	13:00 外来症例検討会、16:00 病理検討会、17:00 術前検討会
7-5	水曜日（午前）	病棟（中央手術）／外来
7-6	水曜日（午後）	病棟／専門外来・外来手術
7-7	木曜日（午前）	病棟（中央手術）／外来
7-8	木曜日（午後）	病棟（中央手術）／専門外来
7-9	金曜日（午前）	病棟（中央手術）／外来
7-10	金曜日（午後）	病棟／外来手術・外勤実習
8	経験できる症例	入院では悪性腫瘍(悪性黒色腫、有棘細胞癌、基底細胞癌、乳房外パジェット病、血管肉腫など)や難治性の水疱症（類天疱瘡や尋常性天疱瘡など）、重症薬疹、乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、重症感染症などを経験し、外来では日常診療で扱う頻度の高い疾患が主体となります。特に入院手術は、週3日中央手術室の枠があり、センチネルリンパ節生検や、リンパ節郭清、皮弁や植皮、血管腫や母斑のレーザー治療など、多くの症例を経験できます。
9	指導医からのメッセージ	学生時代、皮膚科の教科書を読んでもわからなかったのは、定義、基本原理について説明が少なく、更に、思考方法、理論の発展の方法に関して、記載されたものは皆無だからです。当科の研修では「なぜ」を大切に教育を行います。